

ゆんたくひろば

Vol.23

～発行～
琉球國祭り太鼓
東京支部事務局

〒166-0013 杉並区堀ノ内2-4-3

TEL/FAX 03-3317-5546

<http://www.matsuridaiko-tokyo.com/>

琉球國祭り太鼓自主公演

「迎恩」

4～6月にかけて埼玉・千葉・神奈川・東京にて計4回開催しました。自主公演「迎恩」にご来場いただきました皆さま、誠にありがとうございました。また、誠にありがとうございました。公演はお楽しみいただけましたでしょうか。

この自主公演を開催するきっかけとなったのは、「もつと多くの方に、沖縄の文化・芸能と琉球國祭り太鼓の存在を知って欲しい。そして関東地区に祭り太鼓の支部を増やしたい」という関東地区長の以前から持っていた強い願いからでした。しかし現在の東京支部メン

バーの半数近くは、これまでに記念公演やホールでの出演を経験したことがなく、無事に開催できるのか不安な気持ちいっぱいでのスタートでした。

私は昨年7月まで沖縄本島で活動しており、本部主催の記念公演や壮行公演などの大きな公演を何度か経験してきましたが、実際に企画・運営に関わったことはありませんでした。しかし今回の自主公演では、東京支部副支部長として全体の運営に携わる立場となり、ステージの構成や演出を考えたり、準備や当日の段取りを設定したりと、私自身も本当に初めての経験ばかりでした。そんな誰もが初めてのことがばかりでスタートした自主公演も、

メンバー一人一人の頑張りやメンバー同士の協力によって、無事に本番を迎えることができました。

チラシやポスター、リーフレットの作成を担当した広報部、舞台背景に使った巨大な進貢船の補修や膨大な備品の準備を担当した備品部、少ない予算で自主公演を賄うためにいろいろとやり繰りした会計部、何日もかけてステージの構成を練り、新曲の演技指導を担当した練習統括部、新人メンバーもチケット管理など、いろいろな準備を担当しました。より多くのお客様に公演を見ていただくため、メンバー全員で協力して、沖縄料理店回りや会場周辺でゲリラライブを行い、公演のPRをしました。

OB・OGメンバーも、ゲリラライブの場所探しや設定など、当日もスタッフとして多大な協力をしていただきました。この場をお借りして、メンバーおよびOB・OGメンバーに感謝の気持ちを伝えさせていただきます。本当に本当にありがとうございました。

公演当日は音響や照明のトラブルがあったり、その他にもご不満に思われたところもあったかと思えます。このような失敗については大いに反省し、その反省を今後のイベント

や11月に開催する東京支部10周年記念公演に活かしていくつもりです。いろいろな失敗もありましたが、私はこの自主公演は大成功だと感じました。なぜなら、初めてのことが多かった公演を、メンバー全員が一致団結し、途中で諦めることなく、4公演全て、最後まで成し遂げることができたからです。今回の公演で、東京支部はまた一歩成長しました。そして、みんなの心がひとつになれば何でもできる、ということを学びました。

この自主公演で学んださまざまな事を、11月の記念公演に必ず活かしていきたいと思っています。そして、更にパワーアップした東京支部を皆様にご覧いただけるように、これからもメンバー全員で協力して頑張っていきたいと思っています。

これからの東京支部に、そして10周年記念公演にご期待下さい。本当にありがとうございました。

(安里武博)



今年も新宿エイサーまつりの時期がやってきました！
私たちにとってもイベントラッシュが始まる熱い夏の幕開けです。
新宿エイサーまつりをデビューの舞台にしようと頑張っている
新人メンバーもレギュラーメンバーも日々練習中です。
7月29日、新宿でお待ちしております！



2006年度 新宿エイサーまつり

13:30-21:30 新宿東口にて

14:00- 高野前から伊勢丹方面に新宿通りを移動しながら、
各15分ずつ、3回、アルタ前で1回の出演があります。

19:00- コマ劇場前・東口中央通り・モア4番街

<http://shinjuku-eisa.jp/>

旅フェア2006

4月下旬、毎年幕張メッセで開催される旅フェアに参加してきました。今年もまた広い会場内に、大きなステージと日本各地が紹介されたブースがたくさん設けられ、もちろんその中に“沖縄ブース”もありました！

ステージでの出演は二回とも、大勢のお客様が集まり、大いに盛り上がりました。また沖縄ブースの前ではジュニアが演舞させて頂き、たくさんの方が足を止めて下さいました！沖縄の風を感じ沖縄の良さを知り、たくさんの方が“沖縄に遊びに行きたい！”、“そう思っ頂けたと思います(そう信じています)。私も出演の間に会場内を巡り、沖縄を始め、日本のいろいろなところに旅してみたくまりました。最後に、このイベントで私達の写真を撮影してくださった滝口様には、この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございます！”

(玉元聖恵)

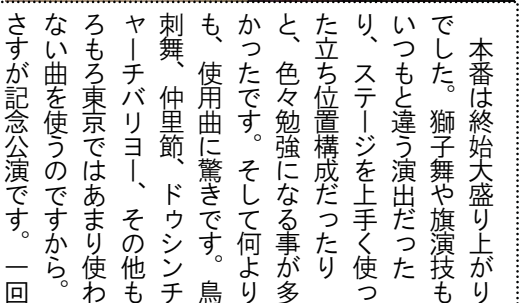


岐阜・愛知記念公演

「舞台初体験！in 岐阜」

やっと来ました！ゆんたく初レポートです。

記念すべき初レポートは4月1日に岐阜で開催された岐阜・愛知両支部の記念公演についてです。岐阜支部は結成5年、愛知支部は結成1年。どちらの支部も記念公演は初めてで、しかも大きなホールでの開催。しかし岐阜・愛知両支部のメンバーは結構落ち着いていて、リラックスしたムードで準備。そして本番を迎えていました。一方、僕はというと・・・初めての大きなホールでの公演ということが、ずっと緊張していました。



本番は終始大盛り上がりでした。獅子舞や旗演技もいつもと違う演出だったり、ステージを上手く使った立ち位置構成だったり、色々勉強になる事が多かったです。そして何よりも、使用曲に驚きです。鳥刺舞、仲里節、ドウシンチヤーチバリヨ、その他もろもろ東京ではあまり使わない曲を使うのですから。さすが記念公演です。一回公演だったので大きな怪我や事故もなく無事に終える事ができました。そして、この一大イベントに参加させて頂いて、岐阜・愛知両支部に感謝します。この経験を東京支部の10周年記念公演に活かせるように頑張ります。

(大城宏太)



宮古支部結成10周年記念公演

「迎恩の心あらがま

魂とともに」

去る3/18に、沖縄・宮古島にて宮古支部10周年記念公演が開催されました。公演は昼と夜の二回公演でしたが、どちらもチケットは完売、その上、夜公演は座席数以上のチケットが売れるという大盛況ぶりでした！

宮古支部、長崎支部、東京支部は同じ年に結成した縁で、結成当初から交流があり、今回も本部や本島各支部、八重山支部の他には、長崎支部と私たち東京支部からの参加となりました。

東京支部からは水野地区長、安里副支部長と私の三人で、出演させて頂きました。宮古島には大学が無いため、進学や就職を理由に島を離れる者が多く、私もその中の一人です。宮古支部で4年活動していました。東京支部でも活動を続けて

います。私以外にも各地の他支部で活動しているメンバーが、10周年ということもあり、今回大勢参加しました。現在の宮古支部の若手メンバーの演舞はもちろん、ジュニアやOB・OGの演舞など、多彩な内容の構成でした。中でも、一番印象に残ったのが「宮古支部オリジナル曲」と「OB・OGの演舞」でした。

宮古支部では、宮古島のアイランダーアーティスト・下地暁さんに、数々の曲を提供して頂いており、宮古支部でしか見られない演技曲がたくさんあります。今回は主にジュニアメンバーがその下地さんの曲を演舞しましたが、暁さんもステージに立ち、一緒にセッションしていただきました。子供たちは歌を口ずさみながら一生懸命に踊り、下地さんとジュニアが目合わせて、一緒に楽しく舞台を盛り上げている姿に大変感動しました。沖縄の人は、本当に生まれ故郷が大好きなんだな、と感じた瞬間でした。また、引退したOB・OGの演舞も現役メンバーに負けず劣らず、とても楽しそうに、そして

真剣に演舞しており、全員息ピッタリで迫力抜群の演舞でした。家庭や仕事の都合で太鼓を続けて行くことが困難になり、大先輩方が引退していくことは本当につらい事でしたが、再び先輩方の演舞を舞台袖からですが、見ることで感じる事ができ、太鼓を続けていて良かったな、と感じました。

私にとって宮古島で踊るといことは、とても特別なことです。今回、いろいろな人と一緒に舞台上に立ち、様々なお客様の反応を見て多くの刺激を受けることができました。また原点に戻り、これから東京に戻っても太鼓を叩き続け、もっと多くの方に感動を伝えていきたいと改めて思いました。

(仲間真代)



速報！ ギリシャ遠征

2006年7月1日の朝7時。私たち13名はギリシャのアテネ空港に降り立ちました。約450kgの音響・太鼓・獅子・荷物と共に。バタバタと準備に日にちが過ぎてゆき、成田の出国手続きをしたのもフライト出発の20分前。まさか本当にアテネに着こうとは・・・そして予想を上回るギリシャ人の一げ一お国柄に、私たちの大波乱なウルルン遠征が始まったのです。

●カラブリータへ

アテネ空港に着いた私たちを迎えてくれたのは、40℃近い外気。シエスタ（お昼寝時間）があるのがあるほど、と納得させられます。バスで最初の町カラブリータへ。カラブリータは山の中の小さな町ですがナチスに虐殺され、焼かれた町。ギリシャ人にとっては重要な町なのです。

この時期ギリシャはサマータイムで日没は夜8時すぎ。それでも10時くらいにやっと暗くなる、といった感じなのです。

●ギリシャ初の出演

世話役のシユクラスさんご一家が車で来てくれて、私たちは分乗してロデアという小さな地区のサマーキャンプへ向かいます。観客は子供150人。出演まで、子供たちと名前を呼び合せて仲良くバスケットをして過ごしました。

そしてとうとう！！ギリシヤ初の出演です。興奮と緊張もわずかのあいだ。なんと山の向こうから黒い雲が。「沖繩が琉球国と呼ばれて・・・」ナレーションを流しているうちに雨がぽつぽつ。立ち居地に置いて獅子 *angry angry* が流れ出すと、正面の山で稲光が。そしてバケツの水をひつくり返したような大雨！とにかく一曲やりきろう、と獅子もびしょぬれになりながら大奮闘。なんとか終わって一礼し、控室に飛び込みます。やむ気配もなく、とうとう雲が降ってきました。嵐をよぶ琉球國祭り太鼓。着替えてホテルへもどります。あんなに期待してくれていた子供達に一曲しか見せられなかった。悔しい思いはメンバー全員一緒。

●ギリシャ聖教の教会の前で

後発隊2名がアテネ空港で10時間待たされたが・・・なにはともあれ、夜8時に合流。そして10時。日没が遅いサマータイムのやっとなつた教会の前の広場での出演人が次々と集まります。

アジアを渡る風・武の舞・神々の詩・(MC)・ミルクムナリ・クーダーカー・年中口説・地翔どーい、アンコールはアツチャマー。ギリシヤ聖教のきらびやかな教会の前で堂々と歩き回る獅子はとても幻想的でした。私たちが演技中は、それは気持ちのいいものでした。今まで日本人をみたこともない人たちの期待感の前で、私たちはへーしを出しつくし、全身全霊をつくして演技をしました。カチャーシーの渦のなか、私たちは国境を超え、人種を超え、感動を共有してまさに混ざり合いました。アツチャマーが終わったあとも地元の人々が声をかけにきてくれ、抱き合っって心を通じさせたのです。



●再び、ロデアへ

朝10時。私たちが向かったのは、ロデアのサマーキャンプです。子供達に私たちの演技を見せたい、その一心からシユクラスさんに頼んでまた車を手配してもらいロデアへ向かったのです。山道を進んでロデアに到着。子供たちの歓待ぶりは・・・卓球をして、テニス、乗馬、サイクリング、子供たちと入り乱れてチームを作りサッカー対決。とにかく遊びまくりました。

夕方7時。衣装に着替えて気持ちを切り替え、出演が始まります。曲目は前日と同じ。アジアを渡る風でノリノリの獅子は客席に乗り込み、子供たちは大混乱。逃げ惑い泣き出す子。満足気に獅子は帰ります。武の舞のカラテにも興味深々。演技が終わっても皆離れようとせず、片づけを手伝ったり、太鼓やカラテを教えるもらったり、なんとかしてそばにいたい様子。私たちが着替えてから一緒に夜ご飯を食べ、ダンスパーティーが始まりました。子供たちに手をひかれてダンスを教えるもらいながら、夜が更けていきます。



●レフカダにて

別れの朝。はだしでドッジボールをしてメンパーも真っ黒に日焼け。しかし出発の時間は訪れます。子供たちが「サヨナラ！」と叫び、私たちが「アディオ！」と返します。ここを出て次の都市レフカダにむかいます。「We have grate time」ありがとう、私たちがもだよ！

レフカダは新宿区と友好都市提携を結んでいるイオニア海に面した町。ここでのイベントは、街中の青空劇場。やっとなつた訪れ始めた9時「音響を持っていくんだからゲリラでやっちゃえ！」と劇場近くの広場で一発！その勢いで劇場でもう一発！さらに広場にもどってゲリラで3回目！地元の大人や子供がついて回ってくれました。やはりここでも一番人気は獅子。ボールを器用に足でさばいて調子にのつた獅子は、子供をバクッ。そのまま逆さに上に持ち上げたまま、広場の中央へ。ほつとんと取り残されたその子はなにがどうなったの？という表情で笑いを誘いました。



●最後の町、パトラス

パトラスでは、海辺のホテルのプールバーでの出演。ライトアップされたプールサイドは、ギリシヤ人だけでなくヨーロッパ諸国から訪れた人たちにうめつくされ、最後の最後のカチャーシーではヨーロッパと私たちが一体になったのでした。獅子のいたずらによってメンパーがプールに落とされうになる場面もありました。

無事に10日間を終え、私たちは言葉と国境から解放された「感動」を共有しました。地元の方々の多大なご協力によってこの遠征が成り立ちました。感謝の想いをこれからの演技の一打一打にこめることを誓って。
(澤口佳奈)



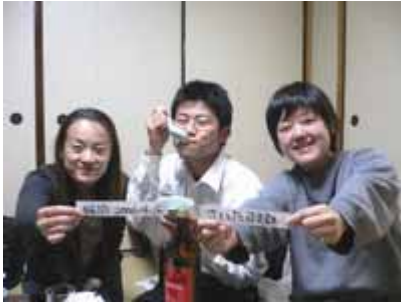
祝！埼玉支部結成

2006年4月16日、「自主公演『迎恩』」の埼玉公演をきっかけに、埼玉支部を結成することになりました。支部長を務めることになりました盛山です。

現在はまだ少人数の支部ではありませんが、しばらくは東京支部の力を借りて協力しながら、少しずつ規模を拡大していけるよう頑張りたいと思います。

埼玉在住・在学・在勤の入部希望の方、募集いたします。興味のある方は東京支部のホームページよりご連絡下さい。

皆様のご支援をいただきながら成長していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしく願っています。
(盛山哲志)



10周年記念式典

2006年2月9日に東京支部は設立から10周年を迎えました。そこで2月11日に、日頃からお世話になっている方々やOB・OGを大勢招いて、東京支部結成10周年記念式典を乃木坂のホテルはあといんにて、盛大に開催いたしました。

東京支部が結成されてから10年が過ぎ、現在の東京支部があるのは本場にこの10年の間、多くの方々に支えられていただいたおかげだと、あらためて実感しました。会場ロビーには過去10年間の写真なども展示されて、自分自身も見入ってしまい、いろいろな多くの懐かしい思い出に浸りました。

式典は、新城久美琉舞研究所の方々による「かぎやで風」にて、華々しく開幕いたしました。続いて、琉球國祭り太鼓の創設者である目取真武男氏をはじめ、この祭り太鼓東京支部に多大なご指導ご支援をいただいている来賓の皆様にご挨拶を頂きました。乾杯の後には美味しい食事を囲みながら、会場のいたるところで

賑やかな歓談が絶えることなく続いていました。後半はアトラクションとして、メンバーによる三線と民謡、ジュニアメンバーの空手の演技を披露いたしました。最後はわたしたち、現役メンバーによる演技で締めくくりました。日出克さんとのミルクムナリのセッションもあり、たいへん思い出深い、充実した式典になったと思います。

私が祭り太鼓に入部して9年が経ち、支部の成長と共に私自身も成長することができたことを、とても誇りに思います。この9年間は本場にさまざまなことがあり、とても語り尽せませんが、水野地区長に次ぐ経

験者として、現在のメンバーに自分の経験を伝え、祭り太鼓に少しでも貢献できるように、これからも精進したいと思います。

最後になりましたが、10年間の間、東京支部を支えてくださった皆様、支部の土台を築いてくださったOB・OGの皆様、全ての方に感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願ひ申し上げます。
(越川一宏)



水野順一郎の最近思うこと Vol.2



「MORE THAN WORDS」

10年という月日は長いようで短く、今までに様々なイベントや多くの人との出会いがありました。その中で祭り太鼓を支えてくれた大勢のみなさんに対する感謝の気持は言葉では表せないものだと思っております。11月の記念公演で現役を引退するまで、今は、ひとつひとつのイベントを悔いの残らないよう、弾けていきたいと思っております。

これまで長年参加してきた国立さくら祭りや銀座ハイソキャンペーン、田無のサムーフェエタ、祭り太鼓が中心になり大きくしてきた新宿エイサー祭りなど、全そのイベントが自分にとって最後のイベントになると思うと、いろいろな思い出が走馬灯のように次から次へと思い出されます。

過ぎ去った過去は戻りませんが、鮮やかな思い出として残し、今までやってきた道のりを振り返りながら、前を進んでいき、残りの現役活動の日々を楽しく過ごしていきたいと思っております。
みなさんとの出会いや感動に……

MORE THAN WORDS



メンバー募集

お問い合わせ・・・・・・・・・・
kengaku@matsuri dai ko-tokyo.com

- 沖縄人（うちなーんちゅ）か沖縄が大好きな人・お祭り好きな人
- 16～28歳の健康な男女でやる気と体力のある人
- 練習やイベントに積極的に参加できる人
- ★ 練習は不定期で週に2～3回、夏季はほぼ毎日あります。土日・祝日の多くはイベント出演となります。



🌸 続報！「私たち・僕たちデビューしました！！」 🌸

私たちは、「プロ意識を持つアマチュア集団でありたい」と考えています。できるかぎり良い演技を見ていただきたいとの思いから、日々練習を積み重ねています。新しくメンバーに加わった新人さんたちはまず太鼓を叩く基本動作である「バチまわし」から始めます。その後「足上げ」という足の基本動作を加えて練習します。基本形が出来上がって初めて曲の練習をすることができます。東京支部でよく利用する6曲を基本曲と呼び、基本曲すべてのテストに合格して初めて皆様の前に『デビュー』することができます。

『デビュー』までは半年から一年間。もちろん、ジュニアも同じです。このコーナーは、『デビュー』したメンバー、イベントには旗もちとして出演している新人さん、今回は復帰したメンバーからのメッセージです。

とうとう！

デビューしました！



今まで自分の辞書には『努力』とか『継続』と言う文字はありませんでした……が、無事デビュー出来ました！これもひとえに、支えて下さったみなさまのおかげ。どうもありがとうございます！
(都築和也)

太鼓

再デビュー！



復帰しました！膝のケガから、6ヶ月…。東京公演で復帰できました。これからも「太鼓を叩けることがうれしい！」という気持ちを忘れず頑張りたいです。練習に付き合ってくれた方、応援してくれた方ありがとうございました。(大場智恵)



今年の3月に無事デビューする事が出来ました。先輩方の熱心なご指導に、感謝しています。今後不撓不屈の精神でチャレンジし続けていきたいと思っています。
(藤田千裕)

こんにちは、今年の1月から休部していました山城直樹です。これから本格的なエイサーシーズンに入るといことで、6月から再び祭り太鼓に参加しています。祭り太鼓に限らず、何かをやる時に一番大切なのが、なぜ・何のためにそれをやっているのかということです。この理由と目的が多ければ多いほど、また明確であればあるほど、人はそれに対して熱い情熱を持って取り組むようになります。私達の大きな目標として11月に10周年記念公演があります。それに向けて、「なぜ祭り太鼓なのか?」「なぜ私達でなければいけないのか?」を、メンバー一人一人がきちんと考えて取り組んでいけば、必ず素晴らしい公演ができあがると思います。いつも応援して頂いている皆さん、これからも祭り太鼓にご期待頂けると幸いです。よろしくお祈りします。(山城直樹)



デビュー間近?! と信じて!



「フィバルは昨日の自分」少しずつでも前進できるように、頑張ります!
(加倉井邦子)

常に向上心を持ち、自分の理想とする演技が踊れるように日々の練習に力を入れて頑張っていきたいです!
(池村一輝)

『新宿エイサー』『デビュー』に向けて練習頑張るのでも応援ヨロシクお願いします☆
(附田奈弥)

長年の夢叶い祭り太鼓を始め、年々衰える体に負けずデビューに向かって頑張っています。
(中野恵美)

毎日楽しく練習しています♪見る人が楽しくなるような太鼓を目指して頑張ります!
(福田有砂美)

努力・根性・本領発揮!!自分自身と他の新人メンバーに負けたくない!強気で突っ走るぞー!
(豊泉梓)

バチまわしがなかなか上手く出来なくてシヨクです……。でも頑張って早くレギュラーになれるように頑張ります。よろしくお祈りします。
(金城愛里)

入部してまだ3日目ですが1日でも早くデビュー出来るように頑張ります。
(熊木活平)

イベント予定

7/16(日)

第2回中野ちゃんぷるフェスタ
時間*18:55 ごろから
場所*中野サンプラザ前広場

7/16(日)

七ヶ浜アート・ウォリアーズ 2006
時間*11:00-
場所*七ヶ浜国際村 アンフィシアター
(雨天時は国際村ホール)

7/29(土)

2006 新宿エイサーまつり
時間*14:00-
場所*新宿通り (アルタ前など)
他・新宿東口

7/30(日)

第11回西東京サマーフェスティバル
時間*未定
場所*西武新宿線田無駅北口

7/31(月)・8/2(水)・4(金)

住友三角ビルビアガーデン
時間*20:00
場所*未定

8/3(水)

おらほ仙川夏祭り
時間*21:00-
場所*京王仙川駅付近ハーモニーパーキング

8/8(火)

2006 納涼バイキング
時間*未定
場所*ラ・ベルオータム地下二階
ラ・サルローヤル
* 入場有料です

8/9(水)・10(木)

京王アサヒスカイピアガーデン
時間*20:00
場所*京王百貨店新宿店屋上

8/26(土)・27(日)

第50回高円寺阿波踊り
時間*18:00-21:00
場所*JR 高円寺駅周辺

8/26(土)・27(日)

沖縄観光物産展(豊見城市)
時間*11:00-/13:00-
場所*湘南モールフィル

8/26(土)

神明氷川神社例祭
時間*17時以降
場所*神明氷川神社

8/27(日)

笹塚観音通り商店街夏祭り
時間*未定
場所*笹塚

※各イベントの詳細につきましては、東京支部HPをご覧ください。祭り太鼓東京支部事務局へお問い合わせ下さい。イベントによっては、直前まで内容が決定しないものもございます。ご了承下さい。

2006年11月4(土)・5(日) 東京支部10周年記念公演 「心 ～美拝しでいやびてい～」

時間*13:00-/17:00- 場所*中野サンプラザ ホール チケット*＜指定席＞前売¥4,000 ＜自由席＞前売¥3,000-



名幸寛人の 名幸コラム 「コザ」

梅雨も明け、本格的なエイサーシーズンがやってきました。今回のお題は(コザ)の街について。沖縄における伝統エイサーのメッカ、琉球國祭り太鼓発祥の地であるコザの街。数年前までは日本で唯一のカタカナの街でしたが、現在は沖縄市として改名されています。しかし、今だに沖縄人の中では「コザの出身です」、「コザまで行こう」などという会話が普通になされています。沖縄本島の真ん中辺りに位置するコザの街は米軍基地をはじめ、南米やアジアの人々が共生するオリエンタルな街です。名幸もコザの出身でして様々な人種が溢れるこの街が当たり前だとずっと思ってました(笑)さて、このコザの街の命名にはいかにも沖縄らしいおもしろエピソードが。元々、胡屋(ごや)という地名がありまして昔、米軍さんがそれを聞き間違えて(コザ)と読んでしまったそうです。それが馴染んで胡屋とコザの二つの地名が現在もあります。面白いですね。沖縄に来る際はコザの街のオリエンタルな雰囲気とエイサーの迫力をお楽しみください。

お詫び*①前回の「ゆんたく号外」でお伝えしました「伊集院光 日曜日の秘密基地」の出演は野球中継により5/14に延期され放送されました。申し訳ありません。

②記念公演チケット発売が諸事情により、7/8からに延期されました。現在販売中です。

お礼**今回の「ゆんたく」でも使用させていただいた自主公演「迎恩」の写真は池田拓司様に撮影していただいたものです。ありがとうございました。

寄付のお願い

いつも私たち琉球國祭り太鼓東京支部の活動をご支持いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで今年で創立10周年を迎えることができました。今後も様々な活動を通して、沖縄の文化・芸能を広く伝えていきたいと、メンバー一同練習に励んでいます。しかしながら、私たちはアマチュア団体でありますので、運営資金のやりくりには非常に頭を悩ませております。大変恐縮なお願いではございますが、運営資金のご寄付を募っております。(3500円以上寄付くださいました方には、記念公演ビデオ・DVDを送付させていただきます)皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

琉球國祭り太鼓 東京支部

お振込先 郵便貯金

00170-6-593950

編集後記

今回の「ゆんたく」はいつもより写真がカッコイイ...と気づいていただけましたか?メンバーのお母様のお知合いの池田様に撮っていただいたものがほとんどなのです。とっても素敵なので(自分達が言うのもおかしいですがね)ゆんたくに使わせていただきました。4公演終わって感激のあまり泣いちゃった副支部長Aさんもおつかよく写っていますね!

担当*澤口・榎本・小黒・大場・高橋

